

## 市町村指定文化財取材票 《表》

取材日	2024年	7月	2日	(記入者) 井本正美(表) 石井宏子(裏)
取材参加者	石井	井本	西田	
	宮本	本井	横山	
取材対象先	奈良市：西大寺の石落神社(しゃくらくじんじゃ)本殿			

所在地	奈良市西大寺南町1-19		
所有者(取材 対応者)名	所有者：西大寺 酒部浩明師(個人情報守秘)		連絡先
			PCアドレス
取材申込	申込先・行政名など：西大寺 酒部浩明師(富雄 根聖院住職)		
市町村 指定文化財	彫刻 軀		
	建造物 1棟	西大寺石落神社本殿 1988(昭和63)年3月3日指定	
文化財指定 理由	西大寺境内の飛び地にあり、西大寺の鎮守社として1242(仁治3)年興正菩薩觀尊によって祀られたのが始まりと伝わる。奈良に多い見世棚造小社殿の中でも年代の特に古いものとして貴重なものである。		

## 文化財の状況

	設備・対策・点検・通知方法など	記入者の感想
防火対策	(西大寺全体として)国宝・重文等寺宝を数多く所有するので放水銃はじめ火災報知器等、法律に則った管理を行っている旨説明があつ	きっちりと管理されていると思った。
	被害の有無、対策など	記入者の感想
獣害対策	境内に小動物は入り込んでいる可能性あり。建物等に傷はないので獣害はないと説明があつた。	街中なので心配はないと思われる。
保存～継承 へ 苦労と 今後の課題 と対策	末寺を含む86ヶ寺に及ぶ寺を抱える真言律宗総本山として今後については、厳しい目で見据えておられる。現在も各僧が分担して末寺のお世話をしておられる状況を知った。少子高齢化が進み、20数年先の消滅市町村名の発表もあり、このままでは末寺の3分の1は消滅すると危機感をお持ちである。国民挙げての文化財にたいする意識改革が喫緊の課題ではないかと思った。	

## 取材を終えて感じた文化財保護状況と今後の課題(修復、維持、管理、環境など)

創建は奈良時代764(天平宝字8)年に孝謙(称徳)天皇が鎮護国家と平和祈願のため7尺の金銅四天王像の造立を発願されたことに始まる。広大な境内に百数十寺の堂舎が薨を並べていた官寺である。平安時代に再三の災害にあい大伽藍も衰頽した。鎌倉時代に稀代の名僧興正菩薩觀尊の尽力により伽藍は整備された。現在の西大寺はほぼこの頃の姿を伝え、真言律宗総本山として数多くの寺宝や宗教的行事に寺格と由緒を偲ぶことができる。一方多数の国宝・重文他、寺宝等管理のご苦労また境内維持管理の膨大な費用等は殆どが寺負担であり、なかなか思うに任せないとお聞きした。南都7大寺の一つ西大寺、1300年の歴史ある大寺ですらクラウドファンディング等諸手法で資金確保しなければならない現実にもどかしさを覚えた。

市町村指定文化財取材票《裏》

取材日	2024年	7月	2日	(記入者) 石井 宏子 (裏)	
取材参加者	石井	井本	西田	宮本	本井
	横山				
取材対象先	奈良市：西大寺の石落神社(しゃくらくじんじゃ)本殿				

《写真撮影許可済》

文化財指定名 西大寺石落（しゃくらく）神社本殿

文化財（全体写真）	文化財（角度を変えて、写真）
	
文化財（角度を変えて、写真）	鳥居側より
	
文化財の由緒などを記入	文化財の状況および余話
<p>西大寺東門前の道を隔てた東北の飛地にある。西大寺の鎮守社として1242(仁治3)年に、叡尊が三輪から少彦名命を勧請したのが始まりとも、一老翁が菩薩戒授与の返礼に、叡尊を訪ねてあらゆる病苦を癒す薬の処方伝授、施薬院を構えて「豊心丹」を作るに至った、その老翁が三輪の薬神、少彦名命、石落神社の祭神になったとも伝わり、呪薬法会が行われてきた。建物は、春日造の檜皮葺の一間社で、正面に階段を設けず一面に床を張る見世棚造の簡素な造り。設立は室町時代中頃と思われる。奈良に多い見世棚造一間社の中で特に年代が古く貴重。</p>	<p>* 西大寺駅にも近く、大型の集合住宅も多い地域の道路に面しているため、人通りも多いと思われる。火災報知器などの設備もなされている。建物は1982(昭和57)年に保存修理で檜皮葺に復原され、美しい状態。</p> <p>* 我が国最古の売薬「豊心丹」は石落神由来の漢方薬として、製薬の呪法の後、朝廷や江戸表に献上していた記録もあり、一般にもお札や御守と同様に広まり、寺再建の資金源ともなっていたとも伝わる。特に江戸期の東大寺大仏開眼供養には諸国から人が集まり、奈良晒・奈良団扇などとともに人気を集めた。今も三月初午の日に四王堂に石落神を勧請して祈願法会が行われている。</p>